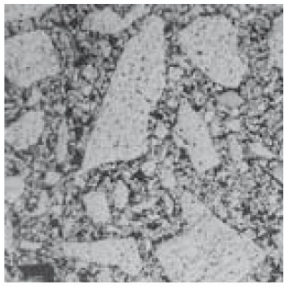
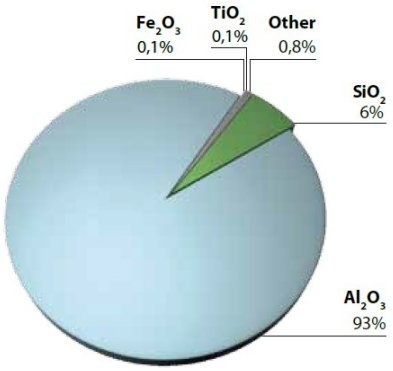
BPAL

CHEMICAL ANALYSIS



TYPICAL CHEMICAL COMPOSITION



BPAL は白色コランダム粒子を焼結して作られた、93%アルミナを含むハイ・アルミナ系煉瓦です。他の焼成煉瓦から比べると純度が高く気孔部が少ないので、硝子コンタクトに対して優れた特性を示します。BPAL は無定形シリカを含んだ、コランダムを主体とした煉瓦です。

物理特性

	International System	British Standard Units
嵩密度	Bulk density ..... 3.1 g/cm³	.....193.6 pcf
気孔率	Open porosity 14%	.....14%
破壊強度	Cold crushing strength.....190 MPa	.....27557 psi
荷重軟化点	Refractoriness under load 2 10^5 Pa, 0.5% at.....1670°C	under load 29 psi, 0.5% at.....3038°F
熱膨張率	Coefficient of thermal expansion.....8.1 $10^{-6}K^{-1}$	.....4.5 $10^{-6}°F^{-1}$
1,000℃での熱伝導性	Thermal conductivity at 1000°C.....3.3 $W.m^{-1}.K^{-1}$	at 1832°F.....22.8 BTU in $hr^{-1}ft^{-2}°F^{-1}$
耐熱衝撃性	Thermal shock resistance.....medium	.....medium

ソーダ石灰硝子の硝子コンタクトに使用された場合の特性

- 1,350℃での耐摩耗性の指標
  JARGAL M：100　BPAL：80
- 1,100℃での発泡性の指標　：（0～10）で 1
- 1,350℃でのブツ発生度の指標　：（0～5）で 0～1

使用箇所

AZS 系煉瓦によるキャット・スクラッチの問題のあるソーダ石灰硝子炉のフォーハース・チャンネル・ブロックにご使用頂けます。
ERPAL Mortar 6 mm 厚と ERPAL Cast 60 mm 厚を一緒にご使用下さい。

供給サイズ

サイドウォール及び、ボトムの肉厚 150 mm で、内寸 1,500 mm 迄のチャンネル・ブロックが供給出来ます。その他のサイズについては当社に相談下さい。